



5月8日(水) 全校生で玉ねぎ収穫をしました。

学校農園の除草や予防などでお世話になった七宝の合田さんにもお越しいただき、全校生で玉ねぎの収穫をしました。自分の顔ぐらいの大きさに育った玉ねぎを抜き、根や茎を切ってから、キャリーケースに入れていきます。どの子も、とても楽しそうでした。

「大きい玉ねぎが取れて楽しかった」「こんなに大きく育つまでお世話してくれた合田さんに感謝したい」といった子どもたちの感想を聞いて、この活動がとても貴重な体験になっていると感じました。

この日は集団下校で、子どもたちは、一人五個ずつ玉ねぎが入った袋を、重そうに持って集合しました。「この玉ねぎ、どんな料理に使うの?」と尋ねると、「カレーライス」「肉じゃが」「ハンバーグ」「みそ汁の具」など、いろいろな答えが返ってきました。

子どもたちが持ち帰った玉ねぎをきっかけに、ご家庭でも食べ物の大切さなどについて話し合う時間をもっていただけたらと思います。



5月9日(木) 6年生で「租税教室」を開催しました。



観音寺税務署より講師をお招きして、6年生で租税教室を行いました。税金がない世界を描いたDVDを視聴して、「税金がないと大変なことになる」「税金は、豊かで夢のある生活のために、みんなから集める会費みたいなもの」ということを学びました。



また、税金についてのクイズに挑戦し、日本の小学生が教育を受けるために一人当たり1年間で100万円くらい税金が使われていることや、オーストラリアでは救急車を呼ぶと8万円くらい払わなくてはならないと聞いて、びっくりしていました。

これは、見本の1万円の札束が一億円分入ったジュラルミンケースを持ちあげているところです。本物と同じ重さで約10kgあり、どの子も「予想より重い」と感じたようです。